

2014年春闘第3回交渉報告

ふざけた会社の態度に 怒!!!

中央本部は本日10時より、「2014年度新賃金要求の第3回目の交渉」を行いました。今回は「要求の根拠」についての交渉を行いました。

《本部》

- ①消費増税をはじめ公共料金、医療費、食料品の値上げなどで組合員の可処分所得は減少しており、ベースアップは当然の要求である。
- ②今月の豪雪をはじめ、輸送障害に安全で安定した輸送を確保するために、超勤や休日出勤も行っている。この苦勞に報いるためにB単価の増額に誠意ある回答をするべき。
- ③期末手当は超低額回答であり、ベースアップも14年実施されておらず、生活は限界にきている。収入計画も11月から上回っており、決算は下期通達も上回る経常利益を確保することを考慮すれば支払い能力は十分にある。
- ④社会的使命を果たすためにも組合員の生活向上が求められる。ベースアップの実施と職場環境改善は経営陣の責務である。満額回答で応えるべき。

《会社》

- ①雪害については、現場の皆さんに協力いただいて感謝する。
- ②消費増税や各種料金の値上げなど、おかれている現状は指摘の通りである。
- ③経常利益は計画を達成できる見込みだが、鉄道事業部門は赤字であり、厳しい状況である。鉄道事業部門の収支改善に向けて努力しなければならず、ベースアップは慎重に見極める。

さらに会社は・・・

「定期昇給の実施については現時点明言できない」とふざけた態度に出ました!

青年部は、「昨年から輸送量が増え、必死に頑張っている。4月以降、更に頑張ろう!という気持ちを持つためにも満額回答すべきだ!」「厳しいのは会社経営陣の責任だ!結果も出せない経営陣ではないか!」「職場では辞めたい・・・と青年部員が日常的に話している。異常な事態であり、情けないと思わないのか!誠意ある満額回答をしろ!」と会社に私たちの声をぶつけましたが、本社の幹部は黙り込み、まともに私たちの声や現実と向き合おうとはしませんでした。もうこれ以上私たちを犠牲にすることは絶対に許さない!! 会社ふざけるな!!

本当に生活できない!この現実を会社に突きつけよう!!